

こども家庭審議会 第5回幼児期までのこどもの育ち部会

子どもの強みを見つけ、親に寄り添う ～飛騨市の実践から見えてきたこと～



2023年7月28日

岐阜県飛騨市長 都竹 淳也



**飛騨市の子ども・子育て支援施策は
専門家、特に医療人材との連携を
重視しています**

1 産前産後期 助産師との連携 赤ちゃんのことお母さんのことが一番わかる専門家

親の精神的・肉体的な安定を支援することで、
赤ちゃんとの愛着形成を支える

「にこにこルームまるん」

妊婦さんや1歳までのお子さんを持つママが集まって気軽に語り合
うことができる場。市内の助産師さんが身近な相談役として豊富な
経験を活かしたアドバイス。各地域へ出向いての「お出かけまる
ん」も実施中。



飛騨市産前産後ママサポートプロジェクト

妊娠中から出産後のママを支援する事業を展開しています。



第9回健康寿命をのばそう！
アワード
母子保健分野 自治体部門
厚生労働大臣優秀賞（R2.11.30）

「My助産師制度」

公式LINEと電話で寄り添う。なんでも
相談可

2 乳幼児期 作業療法士との連携

親の不安に寄り添いながら、遊びながらこどもの強みを見つけ出し、
親子の関係づくりを支援していく

「乳児相談（7カ月児）」

作業療法士、療育保育士が面談

こどもの強みを見つけ出し母親全員に返していく
お母さんのこともここでよくわかる

「乳幼児遊びの広場（月一）」

作業療法士、療育保育士、保健師が参画

こどもと遊びながら継続的に母親の相談にアドバイス



3 就園期 作業療法士との連携

こどもの遊びを通じて、特性の見立てを行い、
将来のなりたい姿を描いていく

「専門家の市内の保育園巡回訪問」

作業療法士、療育保育士、保健師が参画

保育士の相談、児の特性の見立てを
行ってアドバイス

「家庭相談員の保育園巡回」

元保育士の家庭相談員

各保育園でのこどもの状況を園長と定期把握
必要に応じ各児の見立てを実施



4 就園期～就学期 医療・福祉専門職による教育支援

こどもの姿や遊びを通じて、特性の見立てを行い、
将来のなりたい姿を描いていく



● 医療（飛騨市こどものこころクリニック 市直営児童精神科診療所）

環境調整、ソーシャルスキルトレーニング、ペアレントトレーニング、心理教育、トラウマ治療、薬物治療等

● 福祉（NPO法人はびりす セラピスト集団）

・ 学校作業療法士の配置

学校での生活の適応性を良くするための学校の場での
子供への直接支援、教員への助言

・ 放課後等デイ、学校生活の場での読み書き支援

読み書きに支援が必要な子に、その特性に合わせた読み書きの仕方を習得していく

- ・ 体幹等が弱く着席が苦手
- ・ 文字を読む目の動きに課題が
- ・ 文字を覚えるのにコツが必要
- ・ 感覚過敏又はぼーっとして集中し辛い
- ・ 一度にたくさんのができない
- ・ 自信がなくてもフリをしてしまう
- ・ 理解するまでに間が必要など



5 思春期

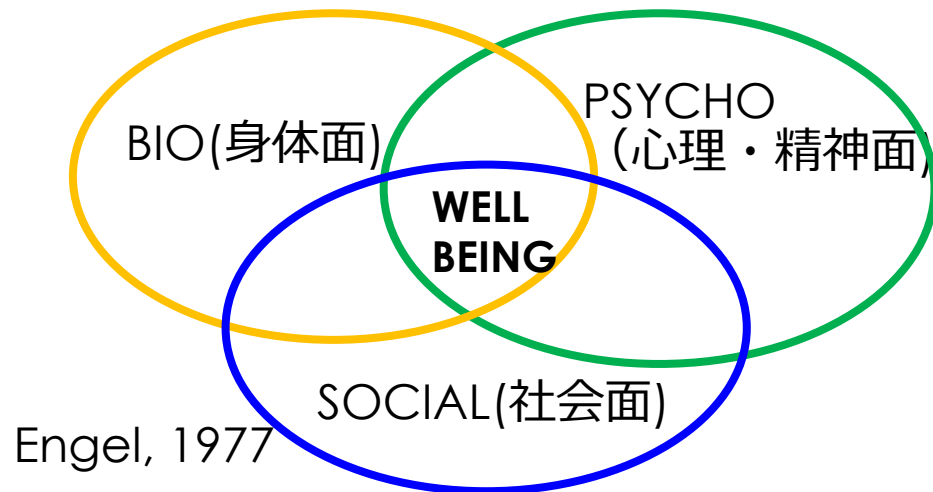
医療・福祉専門職による生徒が自分自身をきちんと理解する支援

●飛騨市地域生活安心支援センターふらっと

学校連携支援員が定期で高校へ巡回

生きづらさのある生徒の情報を得て、作業療法士による専門介入等を実施

精神科医・小児科医をセンターの顧問医師として市で委嘱
次年度「思春期健診」の市内試行実施を行うため準備中



大人になる前の段階で、
身体面だけでなく、
心理的・精神的状態や社会性の状況など
バイオサイコソーシャルの視点で
健康状態を確認

自分自身の特性のメタ認知も明確にしておく



**保育園、小学校には
「NPO法人はびりす」の作業療法士が入り、
子どもの強みや持ち味を個別に評価し、
一緒に伸ばす取り組みを行っています。**

「飛騨市地域生活安心支援センター・ふらっと」～専門職とのつなぎの要

「ふらっと」と、**作業療法士、理学療法士、公認心理士、言語聴覚士**などによる**専門家支援**を行う「NPO法人はびりす」が連携し、専門性の高い支援を行っています

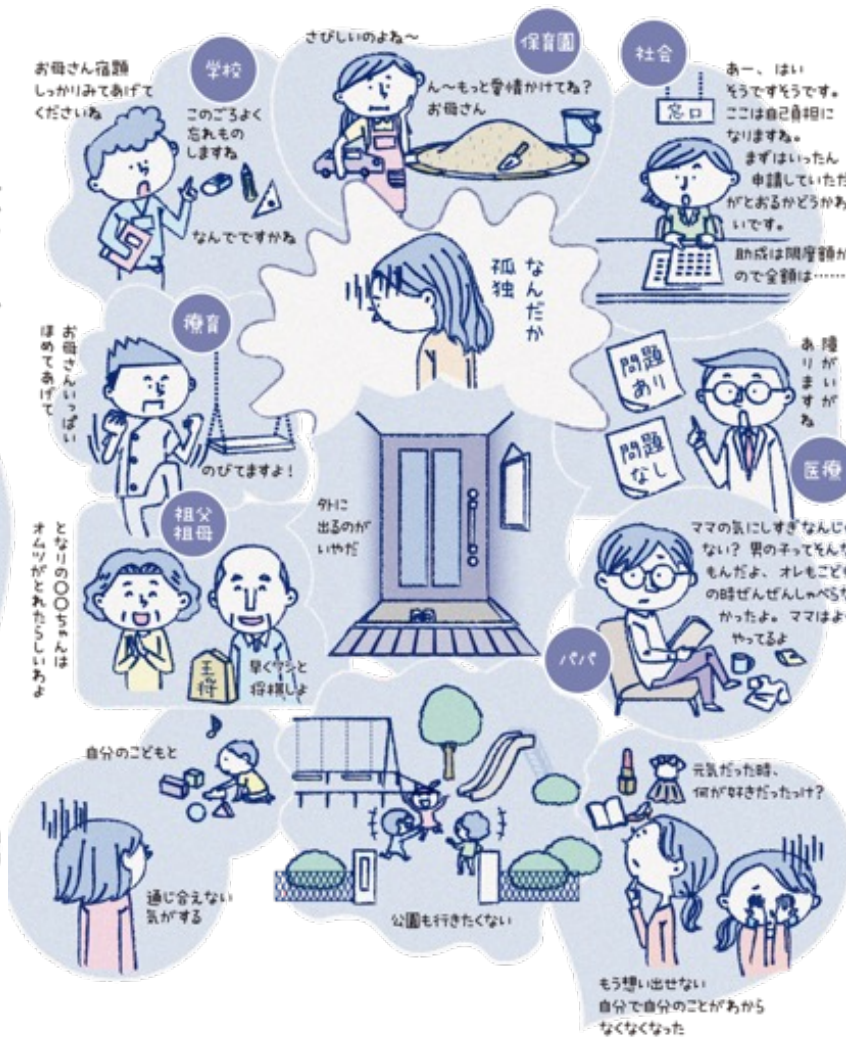
- 生活への適応性をよくする「総合相談窓口」での専門的相談支援対応
医療的セラピストの見地で相談者、相談支援事業所等**対象を拡充**
困難・複雑な相談へOTとして評価・見立て・具体的支援策を提案
- 市が運営する事業にOT等が参画
児童発達支援（発達確認）
- 訪問・巡回相談 保育所、学校、支援事業所からの依頼に応じて**実践を通じた支援**
- 読み書きを苦手とする子どもへの支援プログラム
R2年度より、年々増加している**通級児等を対象**とした支援プログラムを実施
- 作業療法士の学校訪問**
作業療法士が月1回1日市内小中学校を訪問し、学校の教育活動に関わる

現代の母親の三大悩み

1 うちの子、何かが違う



2 誰もわかってくれない



3 私の産み方が変わった



お悩みごととは自分らしい未来を開く扉



保健師A

親子リトミックにまったく入れなかったですね。落ち着いた面も気になります。発達専門のクリニックで一度相談してみませんか？(療育につなぎたい)

作業療法士B

元気なお子さん！今は小さいからはちゃめちゃに見えますが、エネルギーで目的意識が高い！苦手そうな「みんなと一緒に」を磨けば鬼に金棒。

ママ

もう少し様子を見ます。一度、主人とも相談してみます。(戦力外通告のような気分)

ママ

そんなふうに使われたのは初めてです(涙)。どういう方法で伸ばすことができますか？

行き先① 〈原因思考〉
発達の遅れを取り戻すには？

- 言われたから医療に来ました
- Dr.に診断をつけてもらいました
- こどもの障がいを受け入れない
- みんなに迷惑をかけたくない
- がんばらないと
- なんだかとっても無力だな

行き先② 〈結果思考〉
親子の等身大の成長とは？

- 将来このキャラをどう活かす？
- 診断は療育に通うための手段
- 強みを伸ばす英才教育、弱みはゆっくと育む
- 得意なことは誇らしげに育てる
- 苦手なことはほんの少しの成長で超うれしい
- お友達のみんなとも協力して

原因思考：こどもが正常に発達するという行き先
 = 「発達の遅れを取り戻すには？」

結果思考：親子が等身大に発達するという行き先
 = 「どうしたら親子が等身大の成長を誇らしく思うのか？」



景色を変えるマップ



【飛騨市地域生活安心支援センターの相談事例1】 1歳半健診 目が合わない ～インド人になったママ～

元気な男の子が生まれて、会社を経営している主人と一緒に跡取りができたと喜んでいたのも束の間、なんだかうちの子様子がおかしい、と思い始めました。

話しかけてもまったく反応しないし、あやしてみつめても笑いません。身体は元気で、寝返りやハイハイなどは他の子以上に順調でしたが、私のことを見向きもせず、ずっと機関車トーマスのおもちゃを並べて遊んでいました。

「もしかしたら、この子は自閉症で私がママであることさえわかっていないのかしら」と気持ちが真っ暗になり、毎晩「どうして私を見てくれないの、私の育て方がいけなかったのかしら」「もう、子育てには自信がない」と落ち込む日々が続いていました。こどもはたくさんほしいと夫婦で話していましたが、そんなことも考えられなくなってしまいました。

問いかけカード
を使った
「発達の地図」
づくり

コンパス



どこへ
いくの？

Q3 さらに、その先は？

Q2 もし、そのお困りごと
が解決したら？

Q1 困っていることは何？

大空

山の上

沼地

一人一人の発達の羅針盤をつくる

- 1 あるがままを豊かに受け入れる
- 2 芽生えているコトや出来ていること
へフォーカスする
- 3 未来に希望を持ち、旅の道筋をス
トーリーで描く

望遠鏡



こんなふう
にとらえて
みない？

Q3 わが子にあだ名を
つけるとしたら？

Q2 その中でもできて
いたことは？

Q1 どんな場面が
ありましたか？

大空

山の上

沼地

船



どんなふう
に進んでいくの？

Q3 ストーリー仕立てに
してみたら？

Q2 これからどんな
工夫をしてみるの？

Q1 これまでどんなことを
してきたの？

大空

山の上

沼地

発達地図

と描く

記入シート

日付 (/ /)

コンパス

- Q3 笑いが絶えない家族になる
- Q2 トーマスを通して一緒に遊べる
- Q1 目が合って気持ちが通じる



望遠鏡

- Q3 トーマスの天使
- Q2 トーマスを介してなら楽しくやりとりできる
- Q1 私をまったく見てくれない
自閉症かしら



船

- Q3 息子を通して夫婦が成長していく物語
- Q2 私自身がトーマスになる
- Q1 声をかける
後ろから見守る



©株式会社発達支援センター「発達地図」2022 クリエイティブ



インド人ママが地図の質問に答えたら？

- トーマスならじっと見ることができるんだ！ (🔍 Q2)
- こんなに笑い合える家族っていいな (👨‍👩‍👧 Q3)
- 私がトーマスになってどんどん遊んでみよう (🚂 Q2)

After

「息子の見ている世界と一緒に見てみよう」と思い立ち、私もトーマスを並べてながめてみたり、トーマスのシールを貼ったりして遊びました。すると息子がそのシールをじっと見つめるので、インドの人のビンディみたいに私の眉間にトーマスのシールを貼ってみました。すると、息子が私の顔を見ました！ そして私が笑うと息子もゲラゲラ笑い、すっかりうれしくなりました。息子と通じ合う方法はたくさんあるんじゃないか考えるようになり、私のメモ帳には試してみたいアイデアがいっぱいです。

「また、障がいがあったらどうしよう」と思ったりして次の子を授かることに躊躇していた私ですが、もう一人子どもを授かりたいという気持ちも芽生え、夫と一緒にこれからの人生を家族で前向きに歩いていきたいという気持ちになりました。

今では息子が私のもとを選んで生まれてきてくれたことにととても感謝しています。





【飛騨市地域生活安心支援センターの相談事例2】 4歳 超多動児 ～ガミガミママのエリート教育～

うちの子はウルトラ多動。まったく私の言うことなんてききません。今日も保育園で問題を起こし先生に注意されて帰ってきました。私は仕事でも責任のある役職につき、家に帰ればバリバリ家事をこなすママです。なんとか私の手で息子の性格を矯正して、世間に出しても恥ずかしくない大人に育てなければと焦って、ガミガミしかりつけていました。

「ちゃんとすわりなさい」「いただきますは?」「保育園では先生の言うことを聞きなさい」と、どんなに言っても聞いてくれず多動性は増すばかり。朝からガミガミと大声を出し続けているので、声がかれハスキーボイスになってしまいました。

発達地図

と描く

記入シート
日付 (/ /)

コンパス

- Q3 仕事のできるリーダー的な存在になれる
- Q2 彼のよさが周りに理解されるといいな
- QT すこしは落ち着いてほしい



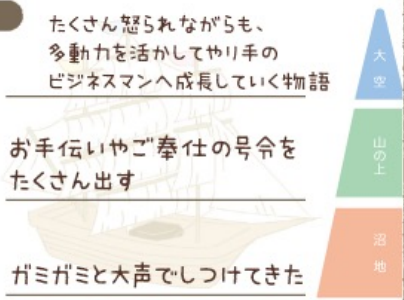
望遠鏡

- お世話好きな野生児
(止めるな危険)
- Q3 年下にはやさしく
お世話好き
- Q2 すぐキレル、
我慢ができない子



船

- たくさん怒られながらも、
多動力を活かしてやり手の
ビジネスマンへ成長していく物語
- Q3 お手伝いやご奉仕の号令を
たくさん出す
- Q2 ガミガミと大声でしつけてきた



© 株式会社 発達地図 2022 クリエイティブ

ガミガミママが地図の質問に答えたら？

- お世話好きでとってもやさしい！ (🔪 Q2)
- バリバリ仕事のできるカッコいい男になるかも (👉 Q3)
- これまで以上にどんどん号令かけていこう！ (👑 Q2)



After

うちの子のエネルギーってほんとすごくて、将来、立派な起業家になるんじゃないかと思うんですよね。「新聞を取ってきて！」「ママを手伝って！」「いっぱい動いて保育園の先生やお友達を助けてあげてね」って、ゲキをとばすんです。



息子の反応はすごくよくて、ハイッ!!とキラキラと動きます。この多動は資産を生むのもっと息子のエネルギーが増強するように今日もガミガミいますよ。「あなた座ってる場合じゃないでしょ！」ってね。

保育園でもガミガミママとキビキビくんキャラを確立しています。ガミガミしているけど結果が出ているし、なんだか自分の子育てを誇りに思えるようになりました。息子の未来は明るいです。

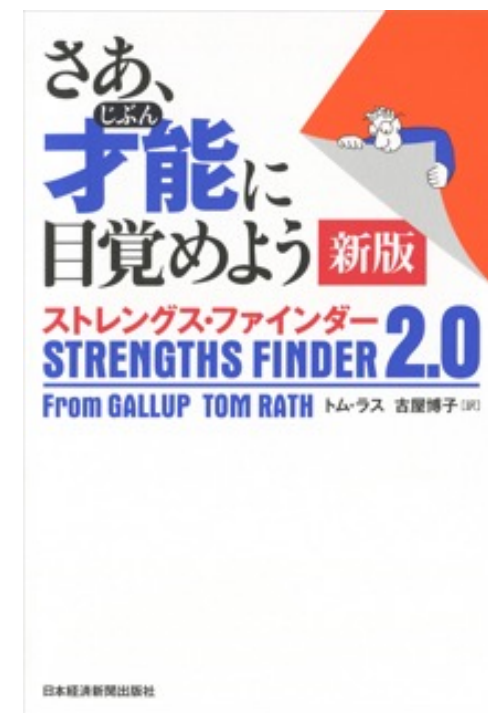
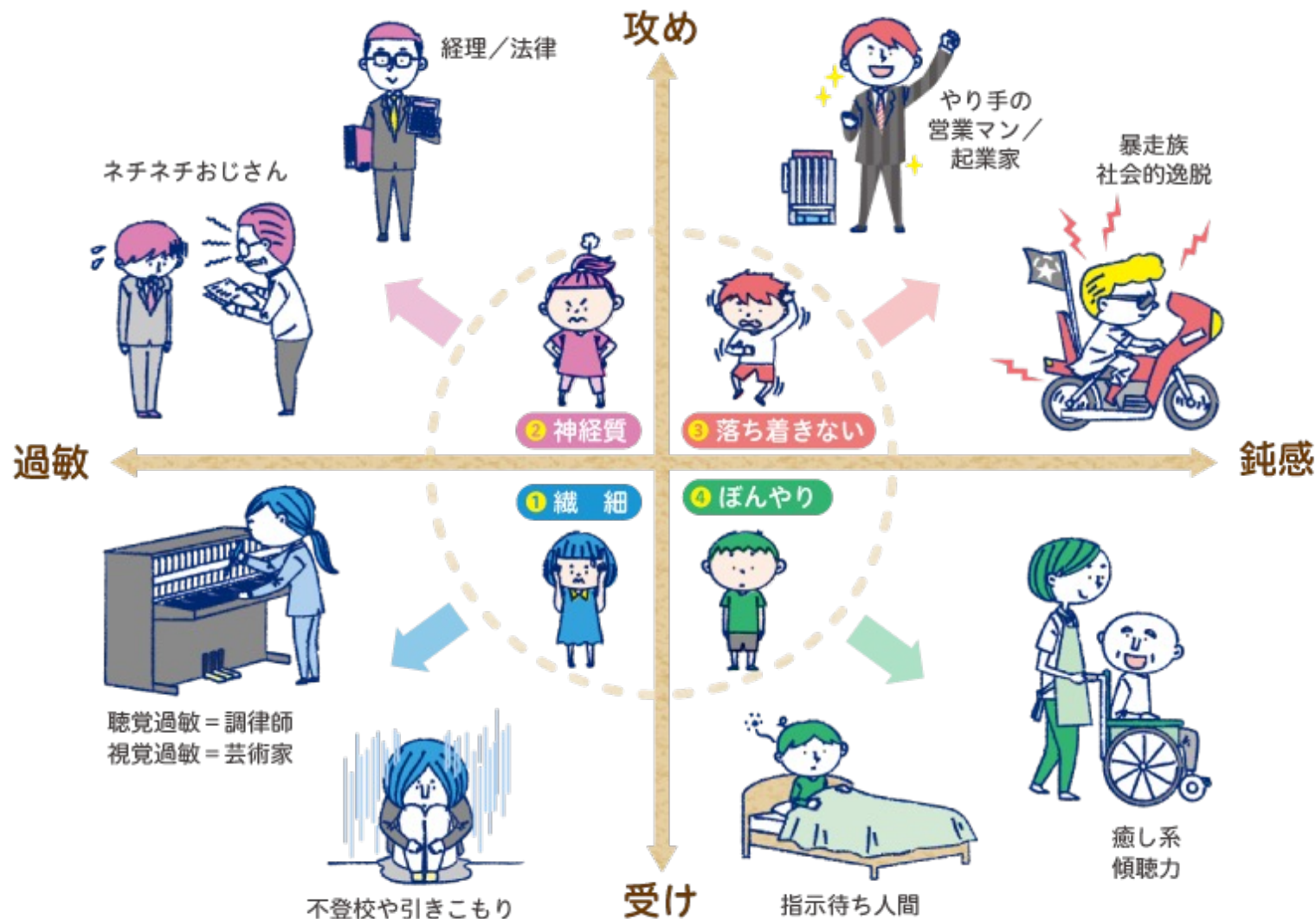
今すぐ解決できない問題は捉え方を変える



障がいの類型に当てはめてしまうのではなく、一人ひとりのこどもの強みや持ち味に着目し、家族や保育園、学校、地域や接する人たちが、それを伸ばす方向へ持っていくことが重要



社会でも特性を活かしたライフデザインが求められています



飛騨市役所では、新規採用、人事異動にストレングスファインダーを活用し、特性を活かした組織づくりを進めています

**飛騨市では全国的にも数少ない
児童精神科単科の診療所
「飛騨市こどものこころクリニック」を
運営しており、
同様の考え方で診療を行っています。**

「飛騨市こどものこころクリニック」

～市が運営する児童精神科単科の診療所～

◆診療対象者

15歳以下の中学生までが対象（約1割が就学前の乳幼児）

◆具体的な診療内容

- 乳幼児では、集団生活の困難、癇癩、3歳児検診で指摘を受けたなどのケースが多い。学童・思春期では、学校・社会生活等の困難、不登校、引きこもり等、対人コミュニケーション等での困難、ご家族の子育てでの疲弊など。
- こどもの得意・不得意を評価し、具体的な助言を行い、臨床心理士とともにカウンセリング、認知行動療法、トラウマ治療、ソーシャルスキルトレーニング、ペアレントトレーニング、療育支援、薬物療法等さまざまな療法を実施。



飛騨市こどものこころクリニックの考え方

→児童精神医療は、行政が取り組むべき政策医療であり、ソーシャルワーク

様々な生きづらさを感じている子どもたちが、
「自分はこれからどのようにして幸せに生きていくのか」を見つけることが目的

いろいろな幸福のかたちを理解し、
その子なりの幸福のあり方を、本人や家族らとともに考え、手助けする

周囲の理解やその子に合った環境の工夫を通じ、
子どもが自ら行動をコントロールできる力を育み、様々な手段を会得する。
そしてこれまでうまくいかなかった学習等にも取り組みやすくしたり、
友達や家族との関係を良くしていくことで、充実した生活へと導く。
子どもに「生きていることの充実感」や「自分らしく、快適に生きる」ことができるように育てる。

「できないこと」といったマイナスばかりをフォーカスせず、
「やりたいこと」、個性・強みといったプラス面をフォーカスしながら、
ものの捉え方も変えて、マイナスの思いもプラスにみえるようにする。プラスを循環させる。

診察現場での事例から

親の治療という形での環境調整も行う

親が子どもに対してネガティブな関わり方をしていると診察で判断することがある。

親自身が子ども時代の傷つき体験を自分の子どもに重ねてしまっている。そのために、親が「○○しないといけない」というものの捉え方が変えられず、例えば宿題をテキパキしない、片付けをしないなどについて、厳しく言ってしまう。

こうした親の子ども時代のつらい思いは診察室で親が興奮して一方的にワーツと語り始めるなど感情変化のある状態で「自分はこうやって苦労して乗り越えてきた」など訴えるときなどに発見できる。

この親自身の傷つき体験について、親に対する治療を行い、そのトラウマを癒す。

その上で、子どもの状態の見立てを説明し、ある程度の制限は設けつつも、ゲームをする時間を増やしてもらったり、ぼーっとする時間を作ってもらったり、おいしい食べ物を食べに連れて行ってもらうようにお願いし、ポジティブな親子の時間をつくってもらおうよう誘導する。

これによって、親自身の物事の捉え方について柔軟性が増し、親子の関わりがポジティブになり共感的な対応となることで、こどもが自然にその子らしく成長できる環境が整っていく。

<都竹の聞き取りによる>

■ 視点 ■ 子ども中心の支援

- ・ 周囲の児への関わりのあり方の問題であるという視点
- ・ 周囲の環境因子が、人の成長に大きな影響を与えるという事実
- ・ その子の先の人生良いものとなることを見据えた育ち視点

システムズアプローチ

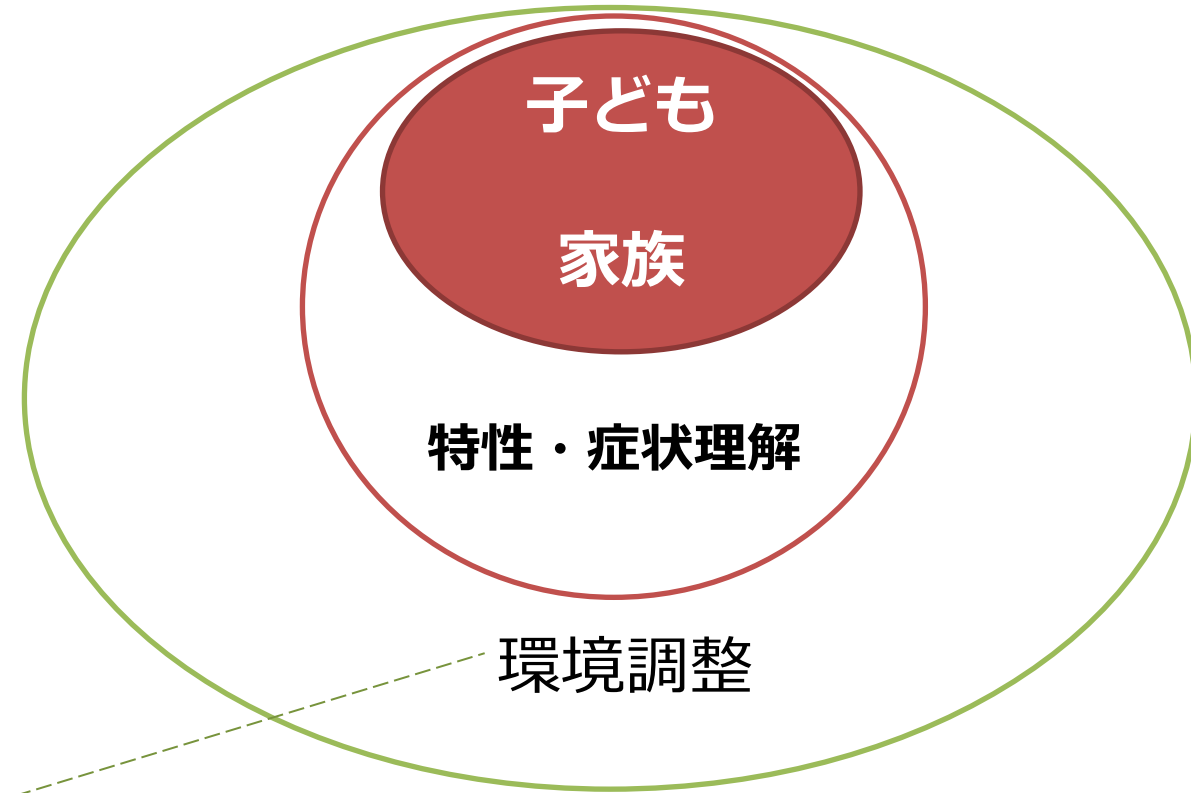
個人、家族、学校・・・

児を取り巻く様々な人々の相互作用
に変化を起こす。

児を取り巻く環境を調整する

これこそが「こどもまんなか」ということ。

こどものこころクリニックの治療アプローチイメージ



ソーシャルスキ
ルトレーニング

ペアレント
トレーニング

トラウマ
治療

薬物
療法

地域・支援機関との連携

飛騨市での取り組みを通じて思うこと(1)

子どもは一人ひとり個性があり、強みがあります。

その育ちも千差万別で「ふつう」「標準」はありません。

そうした多様性が尊重され、

こどもの願いが受け止められるためには、

保護者・養育者はじめ関わる人たちが

基本的な「作法」を理解しておく必要があります。

こどもの願いとは、「遊びたい」「認められたい」「満たされたい」等の思いです。

飛騨市での取り組みを通じて思うこと(2)

その「作法」とは、

こどもの遊びや家族への思いなどを通じて、

こどもに対する見方をリフレーミングし、

一人ひとりのこどもの強みや持ち味を見つけることです。

そして、それを活かし、伸ばせるように

周囲の接し方や環境を変えていくことです。

子供を変えようとするのではなく、周囲が変わろうとすることです。

乳幼児期の「こどもの声を聴く」とは、こども自身の強みや持ち味、そしてこどもの願いを家族や周囲が見つけようと努力することだと思います。

飛騨市での取り組みを通じて思うこと(3)

それによって、

親や周囲から認められ、受け入れられている

という安心感を持てるようになります。

これが、こどもの育ちに必要な愛着を生み出し、

「悩みや問題を抱えながらも、自分らしく生きていく」

= 人生の「Well-being」

につながると考えます。

飛騨市での取り組みを通じて思うこと(4)

それを実践するためには、
こどもの強み・持ち味の発見と具体的な対応を支援する
信頼できる専門人材が必要です。

特にこどもの育ち、こどもと社会のつながりを支える
ファシリテーター役である
地方自治体においては不可欠です。しかし、
そうした人材と出会うことは至難の業です。

こども家庭庁の政策にするとすれば・・・

市町村が信頼ある専門人材と連携するために、

国や都道府県が人材をプールし、

市町村とのマッチングをサポート

する施策は有効な支援になると思います。

地方創生や地域活性化、産業振興などの分野では、
同様の施策がたくさんあります。